

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

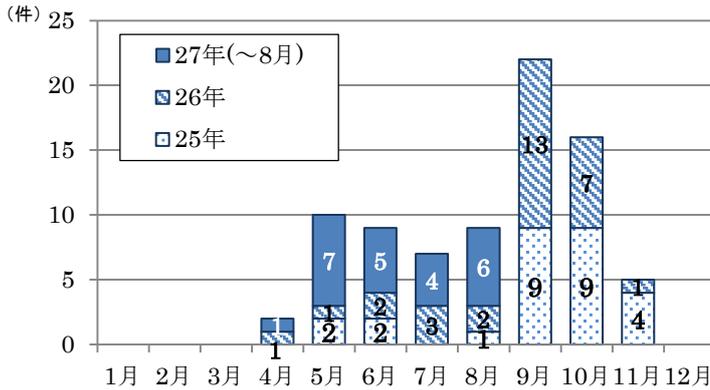
(平成 27 年 9 月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 日本紅斑熱について

広島県内では、例年 9 月、10 月を中心に、日本紅斑熱の患者数が増加します。過去 2 年においては、この 2 か月の合計患者数が、1 年間に発病する患者数の 60%以上を占めていました。

肌を露出した軽装での、レジャーや農作業などの野外活動は控えましょう。



日本紅斑熱患者の月別発生状況
(広島県, H25~H27.8)



日本紅斑熱患者の推定感染地域
(H11~H27.6)

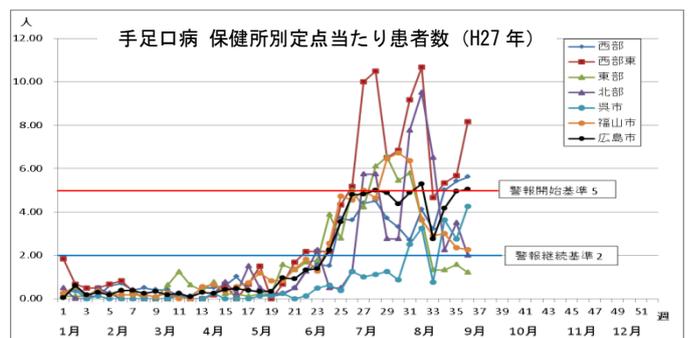
病原体	日本紅斑熱リケッチア <i>Rickettsia japonica</i>
症状	2～8日の潜伏期間を経て、頭痛や倦怠感、悪寒などのかぜ様症状とともに発熱し、38～40度の高熱が出て、四肢や体幹に米粒大や小豆大の紅斑が出現します。 発熱、刺し口、発疹が三大特徴で、適切な抗菌薬を用いた治療を行わないと、症状が悪化して時には死に至る場合もあるので、早期の診断と治療が重要な感染症です。
感染経路	日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ(キチマダニ、フタトゲチマダニなど)に刺されることで感染します。広島県では、患者発生地域で採取されたマダニから病原リケッチアが検出され、また、このマダニの活動期である4月～11月に患者の発生が見られます。
予防方法	・マダニに刺されないことが最も重要です。 ・山野などに立ち入ったりする際は、なるべく皮膚の露出を防ぎ、また帰宅後はすぐに入浴して体をよく洗い、服を着替えるなどして、マダニの吸着を防ぎましょう。

(2) 「手足口病」の流行に注意しましょう！！(第2弾)

平成 27 年 36 週 (8 月 31 日～9 月 6 日) の手足口病の定点当たり患者報告数は、東部保健所管内を除く全ての地域で警報継続基準値(定点当たり 2)を超えており、西部・西部東・広島市の 3 保健所管内では、警報開始基準値(定点当たり 5)も超えている状況です。

また、8 月後半から広島県西部地域を中心に、再び報告患者数の増加傾向が見られます。

今後も、石けんと流水による手洗いを励行し、手足口病の感染拡大の防止に心がけましょう。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成27年8月分(平成27年8月3日～平成27年9月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	10	0.02	0.01		11	ヘルパンギーナ	615	1.71	1.04	
2	RSウイルス感染症	297	0.83	0.45		12	流行性耳下腺炎	405	1.13	0.64	
3	咽頭結膜熱	129	0.36	0.83		13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	462	1.29	0.73		14	流行性角結膜炎	108	1.15	1.11	
5	感染性胃腸炎	1,287	3.58	3.17		15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	79	0.22	0.61		16	無菌性髄膜炎	8	0.08	0.09	
7	手足口病	1,418	3.95	1.67		17	マイコプラズマ肺炎	27	0.26	0.27	
8	伝染性紅斑	104	0.29	0.13		18	クラミジア肺炎	1	0.01	0.00	
9	突発性発しん	188	0.52	0.55		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	11	0.03	0.04							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成27年8月分(8月1日～8月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	60	2.61	2.26		24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	66	3.14	5.66	
21	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.78		25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.62	
22	尖圭コンジローマ	23	1.00	0.79		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.13	
23	淋菌感染症	23	1.00	1.03							

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 RSウイルス感染症(0.15 → 0.83)
- 急減疾患 なし

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	45	結核(45)〔西部保健所(7),西部東保健所(5),東部保健所(8),北部保健所(3),広島市保健所(16),呉市保健所(4),福山市保健所(2)〕
三類	8	腸管出血性大腸菌感染症(8)〔西部保健所(2),北部保健所(1),広島市保健所(1),福山市保健所(4)〕
四類	14	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, デング熱(2)〔北部保健所(1),広島市保健所(1)〕,ライム病(1)〔呉市保健所(1)〕, レジオネラ症(2)〔西部保健所(1),福山市保健所(1)〕, 重症熱性血小板減少症候群(2)〔北部保健所(2)〕, 日本紅斑熱(6)〔東部保健所(2),広島市保健所(1),福山市保健所(3)〕
五類全数	13	アメーバ赤痢(2)〔西部保健所(1),広島市保健所(1)〕,ウイルス性肝炎(A,E型を除く)(3)〔広島市保健所(3)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔西部保健所(1),広島市保健所(2),呉市保健所(1)〕, ジアルジア症(1)〔広島市保健所(1)〕,梅毒(2)〔広島市保健所(2)〕,播種性クリプトコックス症(1)〔北部保健所(1)〕